

平成26年1月31日
水産庁

水産物の市況について（平成26年1月及び2月）

—東京都中央卸売市場における平成25年1月（平成25年12月21日～平成26年1月20日集計）の市況と、
平成26年2月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成26年1月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月と比べ減少となり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）はやや強含みに推移しました。

II 平成26年2月の主要品目の市況見通し

- 「まいわし（生鮮品）」
入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は、犬吠埼沿岸、長崎沿岸）
- 「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」
入荷量は冷凍原料、製品ともに前月と比べやや増加すると見込まれるものの、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。
- 「さば（生鮮品）」
入荷量は前月と比べ横ばいと見込まれ、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。（主漁場は三陸中南部沿岸、鹿島灘～犬吠埼沿岸、駿河湾～伊豆諸島周辺、山陰沿岸、九州西方海域。）
- 「するめいか（生鮮品・冷凍品）」
入荷量は前月と比べやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。
- 「あじ（生鮮品）」
入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は山陰沿岸、九州西方海域）
- 「まぐろ（冷凍品）」
入荷量は需要の最盛期を過ぎることから、赤身類、脂身類ともに前月並と見込まれるものの、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

凡例（目安）		
増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み、横ばい	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～50	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格（概数）

（単位：千トン、円/kg）

	1 月		前 月		前 々 月	
	入荷量	価 格	入荷量	価 格	入荷量	価 格
26年	42	1, 049	50	984	48	892
前年	47	944	52	894	51	799

注1：入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2：入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主 要 品 目 の 価 格

（単位：円/kg、%）

	東京都中央卸売市場卸売価格（概数）			
	1 月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし（生 鮮 品）	440	84	98	98
さけ・ます（平均）	782	101	174	136
（ぎんざけ塩蔵品）	735	100	132	111
（あきさけ塩蔵品）	630	100	152	145
（ときさけ塩蔵品）	900	100	138	115
（べにざけ塩蔵品）	1, 050	100	140	122
（さけ類冷凍品）	760	100	184	145
さば（生 鮮 品）	438	98	106	109
するめいか（平均）	461	97	120	110
（生鮮品）	437	94	115	100
（冷凍品）	505	100	130	140
あじ（生 鮮 品）	798	144	154	173
まぐろ（冷凍品）	1, 209	97	100	89
（めばち冷凍品）	883	97	103	89
（きはだ冷凍品）	733	92	87	83
（くろまぐろ冷凍品）	3, 150	100	84	91
（みなみまぐろ冷凍品）	1, 703	102	78	78

注1：品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2：1月の価格は1～20日までの速報値。平年とは平成21年～25年の加重平均値。

注3：さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4：さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5：まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先：水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111

内線 6617 岡野、庄田

直通 03-3591-5612